

『グラフィックで科学を学ぼう 進化のものがたり』

著者	楠田 雅史, 辰巳 明久, 滝口 洋子, 舟越 一郎
雑誌名	研究紀要
号	63
ページ	v-vi
発行年	2019-03-29
URL	http://id.nii.ac.jp/1290/00000232/

『グラフィックで科学を学ぼう 進化のものがたり』

A Story of Evolution: Learn Science with Graphics

Masashi Kusuda 楠田 雅史
Akihisa Tatsumi 辰巳 明久
Yoko Takiguchi 滝口 洋子
Ichiro Funakoshi 舟越 一郎

「グラフィックで科学を学ぼう 進化のものがたり」は、科学と芸術が共存した世界を可視化する試みとして、ビジュアルデザイン研究室が企画した。

この展覧会では、ビジュアル・デザイン専攻の学生たちが、生物の進化について書かれた専門書を読み、その内容を子供たち(小学校 中・高学年)に伝えるためにデザインした作品を展示した。学生たちがデザインした作品は、ゲーム、映像、絵本など多岐に渡る。

科学の知識は正確に伝えられなければならない。説明文、図版、写真、どれも正確を期すことが求められるが、学生たちが子供たちに進化について伝えようとしたこれらの作品には全て、なんらかの

「ものがたり」が加えられている。

この展覧会には、学生の作品とは別に、京都大学総合博物館が所蔵する近代教育掛図の映像と写真パネルを展示した。近代教育掛図は、京都帝国大学の学生たちが植物などを学ぶために世界各地から集められた図版である。通常このような図版は、正確である一方で、やや退屈と覚えることがあるものだが、近代教育掛図は、科学的視点から事実を伝えるという使命を超え、世界の深遠さを多角的に示唆する芸術性を感じさせる「作品」に昇華しているように感じられる。

会場：京都 ddd ギャラリー

会期：2018 年 11 月 12 日(月)～12 月 22 日(土)

主催：公益財団法人 DNP 文化振興財団 京都市立芸術大学 ビジュアル・デザイン研究室

協力：京都大学総合博物館

出展者：京都市立芸術大学 美術学部 ビジュアルデザイン専攻 2018 年度4回生：岩井 麗、岩崎 瞳、荻野 紗理菜、片岡 妙、川畑 友嘉里、佐々木 優花、佐藤 成実、城内 三四郎、鈴木 環奈、為川 恵里、富浦 智里、永井 攻、橋爪 里佳、濱崎 奏絵、藤山 晴香、發知 明日香、元村 麻希子、森澤 拓朗、山田 康仁、若林 健太郎



